PART1　抑揚形

一　抑揚形

① A 且（スラ／かツ）B。況（いはンヤ）C 乎（ヲや）。＝Aスラかツ B。いはンヤCヲや。／（AでさえB。ましてCはなおさらだ。）

＊且＝猶（なホ）・尚（なホ）

（例）匹夫猶不レ欲二食言一、況至尊乎。〔匹夫猶ほ食言せんと欲せず、況んや至尊においてをや。〕
（身分の低い者でさえいつわりを述べようとはしない、ましてや身分の高いものならなおさらである。）

② 況（いはンヤ）～乎（ヲや）。＝いはンヤ～ヲや。／（まして～はなおさらだ。）

③ 而（しかルヲ）況（いはンヤ）於（おいテヲ）～乎（ニや）。＝しかルヲいはンヤ～ニおイテヲや。／（まして～においてはなおさらだ。）

問一　「不（ルスラ）レ適（サ）二於用（ニ）一、人猶貴（ホブ）レ之（ヲ）。<u>況其適（レ）二於用一者乎。</u>」の傍線部をすべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでもよい）。

＊「適」＝サ変動詞で考えてください。冒頭部分は、出典大学の通り「適さざる」という送り仮名にしてありますがご了承ください。

問二　「児衣在レ側、尚齧、況鞍懸レ柱乎。」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

① 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
② 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
③ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、鞍を柱に懸けておくべきではなかった。
④ 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。
⑤ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。

問三　「況(いはンヤ)能(よク)舎(すテテ)レ母(ヲ)而与(ためニ)二公軍(ノ)一事(ヘンや)耶。」を現代語訳せよ。

注　公軍…公の軍隊。
　　事…「事(つか)ふ」。仕える。

第６講　PART１　確認問題

①「庸人尚羞之。況於将相乎。」の傍線部と同じ意味・用法を持つ語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　直　　イ　久　　ウ　猶　　エ　唯

②「子（スラ）且（ツ）然（リ）、況（ンヤ）※高綱（たかつな）（ヲ）乎。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　高綱…人名。

ア　あなたでさえそのようだ、まして高綱はなおさらだ。
イ　あなたであればそのようだが、高綱はそうではない。
ウ　あなたがそのようであれば、きっと高綱は違うだろう。
エ　あなたがそのようなので、高綱もそうなのかもしれない。

③「布衣之交（スラ）尚（ホ）不二相（ヒ）欺（カ）一。況（ンヤ）大国（ヲ）乎。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　庶民同士の交際ならばだまし合うことはないでしょう。しかし大国となると相手をだますことも時には必要です。
イ　庶民同士の交際でさえだまし合ったりはしないものです。ましてや大国が相手をだますことなどありえません。
ウ　庶民同士の交際にはだまし合いがつきものです。しかし大国が相手をだますことはゆるされません。
エ　庶民同士の交際ではだまし合うこともあります。それと同じように大国も相手をだますことがあります。

④「※顔回（がんくわい）尚不レ能レ無レ過、況其余乎。」に用いられている句形と書き下し文の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

注　顔回…人名。

ア　反語形　顔回すら尚ほ過ち無きこと能はず、況んや其の余をや。

イ　反語形　顔回すら尚に過ち無きこと能はず、況んぞ其の余をや。

ウ　抑揚形　顔回すら尚ほ過ち無きこと能はず、況んや其の余をや。

エ　抑揚形　顔回すら尚に過ち無きこと能はず、況んぞ其の余をや。

⑤「□不レ為ルたラ二※管仲（くわんちゆう）一者ヲ乎。」が「まして管仲でない者はなおさらだ。」という意味になるには、空欄にどのような語を入れるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

注　管仲…人名。

ア　不可　　イ　何為　　ウ　豈唯　　エ　而況

第６講　ＰＡＲＴ１　解答

問一　いわ〔は〕んやそれようにてきするものをや

問二　⑤

問三　まして母を捨てて公の軍隊の為に仕えることができようか、いや、なおさらできない

第6講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

①「Aスラ尚ホB。況ンヤCヲや」と読む抑揚の句形。「尚ホ」の部分は「猶ホ」「且ツ」なども用いられる。よって、ウが正解。

②「Aスラ且ツB、況ンヤCヲや」と読む抑揚の句形は、「AでさえB、ましてCはなおさらだ」という意味。よって、アが正解。

③「AでさえB、ましてCはなおさらだ」という意味の抑揚の句形。直訳すると「庶民同士の交際でさえだまし合うことはない。まして大国はなおさらだ。」となる。よって、イが正解。

④「A尚B、況C乎」は「Aスラなホ B、いはンヤCヲや」と読む「抑揚」の句形。よって、ウが正解。

⑤「まして〜はなおさらだ」という意味になるのは抑揚の句形。選択肢の中で抑揚の句形で用いられるのはエの「而況」で、「しかルヲいはンヤ」と読む。よって、エが正解。

〔解答〕

①ウ　②ア　③イ　④ウ　⑤エ